サポート情報記事

ポリシー確認期限を設定する方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

期限モードを選ぶ 4

相対期間と既定値を理解する 5

割り当てが期限超過になるタイミングを知る 5

各日付を区別する 5

展開に合わせて期限を選ぶ 6

期限の判断と他の日付変更を区別する 6

結果を検証する 7

キャンペーン期限は、従業員の割り当てがいつ期限超過になるかを決定します。割り当てから一定の日数を設ける場合は相対期間、全員が同じ暦日までに完了する必要がある場合は固定日を選択します。ポリシーの発効日やレビュー日は別の設定です。

期限モードを選ぶ

1 キャンペーンを作成し、ポリシーと対象者のステップを完了します。
2 **期限とリマインダー**で**期限**を探します。
3 **割り当てから N 日**を選んで**閲覧確認までの猶予日数**を設定するか、**日付固定**を選んで具体的な日付を選択します。
4 期限との関係を考慮して、リマインダーとエスカレーションの設定を確認します。
5 開始前に最後のステップで表示された期限を確認します。

相対期間のコントロールは1〜365日を受け付けます。固定日の日付選択は、通常のUIで過去の日付を選べないようになっています。固定日を選んだまま日付を空にしないでください。固定日が保存されていない場合、開始サービスは相対日数の値を代わりに使用することがあります。



相対期限または共通の固定日を選ぶ

相対期間と既定値を理解する

初回開始時、相対期限は開始時刻に暦日を加えて計算されます。営業日カレンダーではなく、週末や祝日を除きません。その開始処理で作成された割り当てには、計算結果の日付が設定されます。

Policy Adminは、新しいキャンペーン設定の初期値となる既定の日数を提供します。後から既定値を変更しても、既存のキャンペーンや割り当て期限は書き換わりません。常時実行キャンペーンで後から自動作成される割り当ては外部サービスに依存します。最初のバッチから推測せず、保存された日数をそのサービスがどう扱うかを検証してください。

たとえば、十一月10日に14日間として開始したキャンペーンでは、14暦日後の日付が設定されます。祝日を考慮する期限が必要な場合は、適切な固定日または承認された外部プロセスを選んで検証します。Webパーツの計算に祝日のルールはありません。

割り当てが期限超過になるタイミングを知る

未完了の割り当てでは、製品は期日と評価日のそれぞれの日の開始を比較します。期日が評価日より前の日である場合に期限超過になります。期日当日はまだ期限内です。期日がない未完了の割り当ては、この日付比較で期限超過にはなりません。

日付表示と日の境界の計算には、ブラウザの日付処理が使われます。異なるタイムゾーンの従業員については、すべてのレポートが共通のUTC日スナップショットだと考えず、代表的なアカウントで表示日を確認します。履歴ダッシュボードも同種の比較に選択した評価日を使用します。

各日付を区別する

日付または操作	既存の割り当て期限を延長するか
ポリシー発効日	いいえ。ポリシーのメタデータです。
次回ポリシーレビュー日	いいえ。所有者がレビューに対応する時期を示します。
レビュー後の従業員割り当ての再開	いいえ。保存済みの期限は維持されま

日付または操作	既存の割り当て期限を延長するか
	す。
全体の既定期限日数の変更	いいえ。既存の期限は再計算されません。

警告

マネージャー画面には不在の従業員の期限を自動的に変更する旨の文言がありますが、ここで確認したWebパーツにはその動作が実装されていません。その文言だけに基づいて延長を約束しないでください。依存する前に、別のサービスの実装を検証してください。

展開に合わせて期限を選ぶ

割り当て後の一定暦日数をルールとする場合、相対期間が便利です。ブラウザからの初回開始では、その開始操作から割り当て日と相対期限を計算します。選択集団が共通の目標日を守る必要がある場合は固定日が便利です。後から加わる人には時間が短くなる場合があるため、サービスが後で作成する割り当ては、実際のサービス動作を別途確認する必要があります。

たとえば、月の初日に相対期間7日で開始したキャンペーンは、通常の暦日の加算では八日目が期限になります。八日目はまだ期限内で、未完了の割り当ては翌日に期限超過になります。実装は期間を営業日に変換せず、週末や祝日も除きません。

固定日に相対期間を加算しないでください。固定日が指定された場合、初回割り当てにはその日付を使います。逆に、固定日を選んでも日付を実際に入力していなければ、開始経路で相対値が使われる場合があります。どの選択肢が強調されていたかだけに頼らず、試験用割り当てに実際に保存された期限を検証します。

期限の判断と他の日付変更を区別する

変更	期待する効果
全体の既定期限期間を編集	新規キャンペーン設定の初期値になり、既存割り当ての日付は修正しませ

変更	期待する効果
	ん。
ポリシー発効日を変更	ポリシー情報を変え、割り当て済み作業を自動延長しません。
ポリシーが有効であると確認	ポリシーレビュー情報を更新し、従業員期限は更新しません。
レビューが必要な割り当てを再開	既存期限のまま割り当て済み状態に戻します。
キャンペーン停止またはポリシーのアーカイブ	それ自体ですべての割り当てを取り消したり期限を削除したりしません。

従業員が不在など延長理由を報告しても、マネージャービューが自動調整すると約束しないでください。確認したクライアントコードには、案内にある不在による自動調整は実装されていません。組織のサポートされる処理手順を定め、別サービスに依存する前にその動作を検証します。

期限について意見が分かれる場合、保存された割り当て日、期日、選択レポート日、ブラウザの状況を記録します。レポートは暦日の境界を比較し、日中の正確な時刻を再構成しません。通知時刻や表示されたポリシー日付が従業員の期限だと結論する前に、実レコードを確認します。

結果を検証する

開始後、キャンペーン概要とMy Policiesの試験用割り当て、レポートのエクスポートを比較します。再開したケースと期限超過のケースは別途確認します。期限が誤っている場合は、サポートされる修正を行う前に対象のキャンペーンと割り当てを特定します。同じバージョンの重複キャンペーンを開始しても期限は置き換わりません。KB10536. ポリシー、従業員、割り当てが表示されない問題を解決するを参照してください。